

神戸財団受託事業
【陶磁教育・課題作品交流展】
実施報告書

目次

開催概要.....	3
搬入の様子.....	5
会期中の様子.....	6
広報・プロモーション.....	7
制作物.....	8
関連企画.....	10

開催概要

book and work 神戸財団「陶磁教育・作品交流展 2025」

会 期 2025 年 2 月 11 日（火・祝）～2 月 17 日（月）

開催時間 11：00～22：00

入場料 無料

会 場 代官山 蔦屋書店 2 号館 2 階 Anjin
（東京都渋谷区猿楽町 17-5）

来 場 者 平日：約 7,000 人／休日：約 15,000 人

主 催 一般財団法人神戸財団
愛知県立芸術大学

協 力 武蔵野美術大学
代官山 蔦屋書店

概 要 一般財団法人神戸財団の委託を受け、日本の芸術大学で学ぶ同世代の陶磁創作者たちの交流を目的に、共通テーマ『本』からインスパイアされた作品を代官山蔦屋書店で展示したものである。

蔦屋書店で開催する意義

アートへの関心が高い層を含む、商業施設ならではの不特定多数の利用客が集う場で陶磁器の魅力を示し、陶磁教育の現場から生まれた新たな可能性を発見する機会を創出するため。

テ ー マ book and work

あなたが好きな、あるいは興味のある本を一冊選び自身の視点で作品を制作してください。

あなたは日頃何を考え作品を作っていますか？

社会の様々な問題、人々の生活や営み、自然の美しい造形、素材の魅力、地域との関わり。本は、あなたの知識や想像力を広げ、思考のヒントになり、物事の理解を深めることに役立ちます。

本は、あなたの感情をゆさぶり、他人の考えを知り、価値を変え世界が広がります。
本との出会いは、作品制作の契機になり、表現を深め、未来の活動につながるかもしれせん。

本のジャンルは自由ですが、文庫、新書から1冊を選んでください。

参加大学 合計 8 大学

愛知県立芸術大学、武蔵野美術大学、佐賀大学、多摩美術大学、東京藝術大学、
金沢美術工芸大学、沖縄県立芸術大学、京都市立芸術大学

参 加 者 合計 133 名

愛知県立芸術大学 58 名、武蔵野美術大学 40 名、佐賀大学 10 名、多摩美術大学
8 名、東京藝術大学 9 名、金沢美術工芸大学 5 名、沖縄県立芸術大学 2 名、京都
市立芸術大学 1 名

参加者内訳 学部 2 年：11 名

学部 3 年：26 名

学部 4 年：33 名

研究生：5 名

修士 1 年：7 名

修士 2 年：40 名

博士前期 1 年：9 名

合計：学生 111 名

博士前期 2 年：2 名

研究生：1 名

博士後期 1 年 2 名

博士後期 2 年：1 名

博士後期 3 年：4 名

教授：7 名

准教授：5 名

講師：1 名

非常勤講師：4 名

合計：教員 22 名

助手：3 名

研究指導員：2 名

搬入の様子



1



2



3



4



5

1 搬入は代官山蔦屋書店の営業終了後 22 : 00 から開始した

2、3 作品開封の様子

4、5 作品設置の様子

会期中の様子



1



2



3



4



5



6

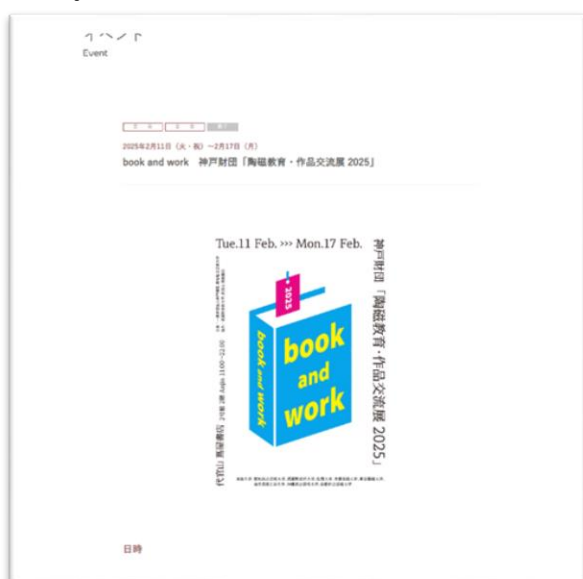
- 1 Anjin の会場半面を作品を触ってよいエリア、触ってよくないエリアに分け展示した
- 2 カフェスペースのガラステーブルの中にも展示
- 3、4 フライヤーを会場に設置し、来場者にお手に取ってもらえるようにした
- 5 応募者一人につき作品、本、キャプションの3点セットで展示
各大学ごとにまとめて展示するのではなく、混合した

広報・プロモーション

学内外に向けて展示開催の周知として、フライヤーやデジタルサイネージ、代官山蔦屋書店の公式ウェブサイトなどで情報発信を行った。特に折加工パンフレットについては、代官山蔦屋書店での設置時に非常に配布率が高く、芸術に対する関心が高い層に関わらず幅広い客層への訴求へつながり 2,000 枚中 7 割をお手に取っていただいた。

●ウェブサイト

愛知県立芸術大学、武蔵野美術大学、代官山蔦屋書店のウェブサイトにて開催情報を公開した。



愛知県立芸術大学 公式ウェブサイト



代官山蔦屋書店 公式ウェブサイト

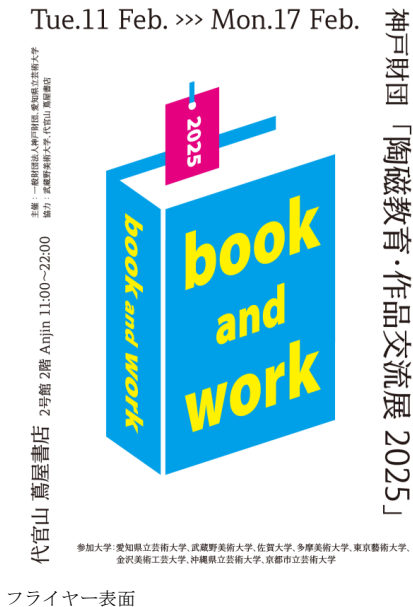


武蔵野美術大学 公式ウェブサイト

制作物

●フライヤー（デザイン：愛知県立芸術大学・佐藤 直樹教授）

本企画展コンセプトを表現したイメージビジュアルを用いて制作した。



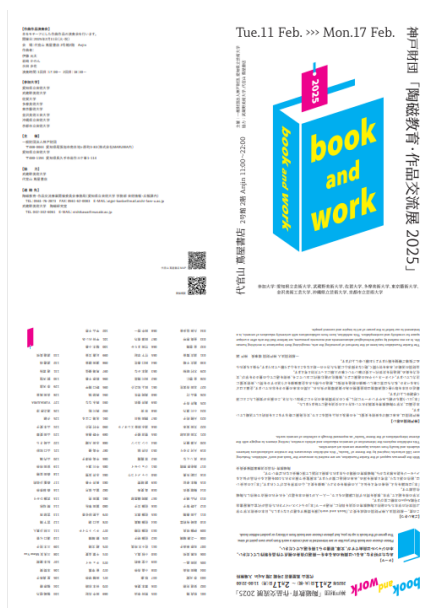
フライヤー表面



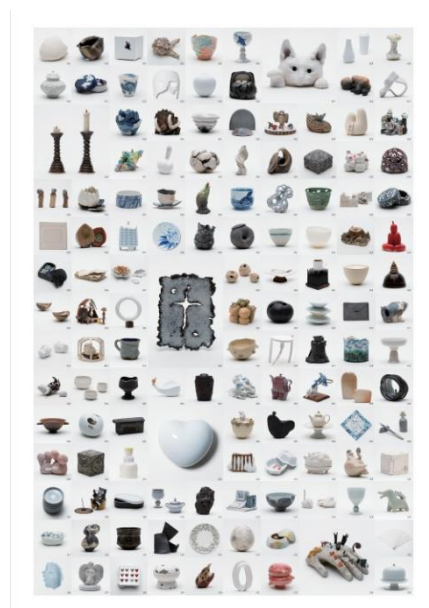
フライヤー裏面

●折加工パンフレット（デザイン：愛知県立芸術大学・佐藤 直樹教授）

展覧会情報に加え、133名分の出品者の氏名、出品作品を掲載した。会期中、展示会場にて来場者に無料配布を行った。



折加工パンフレット表面



折加工パンフレット裏面

●デジタルサイネージ

(デザイン：愛知県立芸術大学・佐藤 直樹教授)

代官山蔦屋書店に設置されているデジタルサイネージにて
本企画展の開催告知を行うため作成した。



デジタルサイネージ（部分）

●図録（デザイン：武蔵野美術大学・竹下 早紀助手）

本企画展の開催概要、出展者 133 名分の作品と作品解説等を掲載した作品集。

販売は行わない。

印刷会社：藤原印刷株式会社

印刷部数：500 部

納品日：3 月 26 日（水）

発送：2025 年度 4 月

関連企画

●作曲作品演奏会

本学では、2021 年度より陶磁専攻芸術表現コースと作曲専攻作品コースの 3 年生を中心に、合同授業を実施している。今年度の課題テーマは「本」とし、学生たちは各自で選定した書籍からインスピレーションを得て、それぞれの専門分野で作品を制作・作曲を行った。本企画展の共通テーマが『本』からインスパイアされた作品を代官山蔦屋書店で展示するものであり、同一のテーマで演奏を披露する機会があったため書籍から着想を得た作曲作品のピアノ演奏を実施した。

日時：2025 年 2 月 11 日（火・祝）

1 回目：17：00～ 2 回目：18：30～

会場：代官山 蔦屋書店 2 号館 2 階 Anjin

演奏者：伊藤 元太、岩崎 かのん、水田 歩佳
（愛知県立芸術大学・音楽学部・音楽科・
作曲専攻 3 名同上）

監督者：愛知県立芸術大学・成木 理香教授



●交流会

本企画の応募者による、意見交換や大学の教育方針の紹介を目的とした交流会を実施した。

日時：2025 年 2 月 11 日（火・祝）

16：00～19：00

会場：武蔵野美術大学 市ヶ谷キャンパス

5 階 502・503 講義室

参加者：合計 41 名



本展覧会の開催の様子

- ・反響が良く、学生の来場が多かった。
- ・展示環境に関するポジティブな評価や、作品展示方法やデザインに対して肯定的な声が多かった。
- ・展示作品の量と質に対する高評価があり、来場者からは「本を読んで作品を作るテーマが興味深かった」との感想があった。
- ・学生とそのご家族などの来場者が多かった。
- ・SNS や海外（韓国）からも関心を集めた。

2023年度運営委員会

外館 和子（多摩美術大学 専任教員）教授
梅本 孝征、長井 千春、崔 宰熏（愛知県立芸術大学 教授）
田上 知之介、佐藤 文子、小枝 真人（愛知県立芸術大学 准教授）
榊原 扶美（一般財団法人神戸財団）
木村 由佳、池田 玲美、竹田 なるみ（愛知県立芸術大学 芸術情報・広報課）

2023年度企画打ち合わせ

長井 千春、崔 宰熏（愛知県立芸術大学 教授）
佐藤 文子（愛知県立芸術大学 准教授）
西川 聡（武蔵野美術大学 教授）
榊原 扶美（一般財団法人神戸財団）
木村 由佳、池田 玲美、竹田 なるみ（愛知県立芸術大学 芸術情報・広報課）

2024年度運営委員会

外館 和子（多摩美術大学 専任教員）教授
梅本 孝征、長井 千春、崔 宰熏（愛知県立芸術大学 教授）
田上 知之介、佐藤 文子、小枝 真人（愛知県立芸術大学 准教授）
加藤 孝爾（一般財団法人神戸財団）
木下 圭一郎（愛知県立芸術大学 事務部門長）
榊原 扶美（一般財団法人神戸財団）
山内 恭輔、木村 由佳、竹田 なるみ（愛知県立芸術大学 芸術情報・広報課）

2024年度企画打ち合わせ

長井 千春、崔 宰熏（愛知県立芸術大学 教授）
佐藤 文子（愛知県立芸術大学 准教授）
西川 聡（武蔵野美術大学 教授）
田中 右紀（佐賀大学 教授）
三木 悦子（佐賀大学 准教授）
榊原 扶美（一般財団法人神戸財団）
木村 由佳、竹田 なるみ（愛知県立芸術大学 芸術情報・広報課）

協力

竹下 早紀（武蔵野美術大学 助手）展示設営等・図録デザイン/編集業務担当
太田 琢人（武蔵野美術大学 助手）写真撮影・デジタル画像処理業務担当
佐藤 直樹（愛知県立芸術大学 教授）ビジュアルデザイン担当
成木 理香（愛知県立芸術大学 教授）作曲作品演奏会監督